

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月1日

上場会社名 北海道歯科産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7693

URL <https://hokusan-kk.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役（氏名）山田 哲哉

問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部長（氏名）神谷 康弘（TEL）(011)813-5556

定時株主総会開催予定日 2026年 6月 17日

発行者情報提出予定日 2026年 6月 17日 配当支払開始予定日 2026年 6月 18日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期の業績（2025年3月21日～2026年3月20日）

(1) 経営成績

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	4,763	4.7	57	12.8	76	16.6	63	△21.3
2025年3月期	4,548	△5.9	51	△30.8	65	△28.1	80	34.7

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益		自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円	銭	円	銭	%	%	%
2026年3月期	13	21	—	—	8.0	5.3	1.2
2025年3月期	16	78	—	—	11.1	4.7	1.1

（参考）持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益については潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
2026年3月期	1,512		823		54.4	171	63
2025年3月期	1,349		761		56.4	158	67

（参考）自己資本 2026年3月期 823百万円 2025年3月期 761百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高
	百万円		百万円		百万円		百万円
2026年3月期	△25		△23		△3		128
2025年3月期	99		△31		△69		181

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率	
	中間期末		期末		合計				
2025年3月期	円	銭	円	銭	円	銭	百万円	%	%
2025年3月期	0	0	0	25	0	25	1	1.5	0.2
2026年3月期	0	0	0	50	0	50	2	3.8	0.3
2027年3月期(予想)	0	0	0	50	0	50		6.9	

3. 2027年3月期の業績予想（2026年3月21日～2027年3月20日）

（%表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	4,798	0.7	33	△42.6	52	△31.6	34	△45.5	7 20

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（期末）

2026年3月期	4,800,000株	2025年3月期	4,800,000株
2026年3月期	－株	2025年3月期	－株
2026年3月期	4,800,000株	2025年3月期	4,800,000株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3ページの「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
（1）当期の経営成績の概況	2
（2）当期の財政状態の概況	2
（3）当期のキャッシュ・フローの概況	3
（4）今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	
（1）貸借対照表	4
（2）損益計算書	6
（3）株主資本等変動計算書	7
（4）キャッシュ・フロー計算書	8
（5）財務諸表に関する注記	10
（継続企業の前提に関する注記）	10
（持分法損益等）	10
（セグメント情報等）	10
（1株当たり情報）	10
（重要な後発事象）	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、社会経済活動の正常化が進む中で緩やかな回復基調を維持したものの、原材料価格やエネルギーコストの高止まり、為替変動、地政学的リスクの影響により、依然として先行き不透明な状況が続きました。歯科医療業界においては、予防歯科への意識の高まりや自費診療ニーズの拡大を背景に一定の需要が維持されている一方、人材不足やコスト上昇、診療報酬改定への対応など、医療機関の経営環境は厳しさを増しております。また、歯科医師の高齢化に伴う閉院や事業承継ニーズの増加など、業界構造の変化も進行しております。

このような環境のもと、当社は従来の「モノを供給する商社」から「歯科医療の課題を解決するパートナー企業」への転換を推進してまいりました。その中核施策として、コンタクトセンターを中心とした顧客対応体制の再構築に注力し、電話・FAX・メール・LINEといった複数チャネルを統合した受注・問い合わせ対応の一本化を進めました。これにより、従来の営業個人に依存した対応から脱却し、迅速かつ均質なサービス提供を実現するとともに、顧客の利便性向上と対応品質の標準化を図りました。

さらに、コンタクトセンターを単なる受注窓口にとどめることなく、顧客接点の起点として位置付け、問い合わせ内容や受注データの蓄積・分析を通じて、営業活動や提案機能へのフィードバックを行う仕組みを構築しました。これにより、顧客ニーズの可視化と提案精度の向上を実現し、組織全体で価値提供を行う体制へと進化を図っております。また、受注プロセスの標準化・効率化や業務のデジタル化を推進することで、生産性の向上と持続可能な事業運営基盤の強化にも取り組みました。あわせて、展示会や各種セミナーの開催による情報提供機会の創出、予防歯科および自費診療領域における提案活動の強化など、商品と情報を組み合わせたサービス展開を推進してまいりました。

この結果、当事業年度の売上高は4,763,002千円（前期比4.7%増）、営業利益は57,928千円（同12.8%増）、経常利益は76,227千円（同16.6%増）、当期純利益は63,387千円（同21.3%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における、資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(資産の部)

当事業年度末における総資産の残高は1,512,999千円（前事業年度末比163,184千円増加）となりました。流動資産は1,215,878千円（前事業年度末比144,525千円増加）となり、これは主に流動資産に含まれる売掛金が175,648千円増加し、現金及び預金が52,705千円減少したことによるものです。固定資産は297,120千円（前事業年度末比18,658千円増加）となりました。これは主にソフトウェアが72,978千円増加し、ソフトウェア仮勘定が60,258千円減少したことによるものです。

(負債の部)

当事業年度末における負債の残高は689,171千円（前事業年度末比100,996千円増加）となりました。流動負債は643,626千円（前事業年度末比96,625千円増加）となり、これは主に買掛金が134,299千円増加し、未払法人税等が26,791千円、未払金が7,378千円減少したことによるものです。固定負債は45,545千円（前事業年度末比4,370千円増加）となり、これは主に退職給付引当金が6,350千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当事業年度末における純資産の残高は823,827千円（前事業年度末比62,187千円増加）となりました。これは当期純利益63,387千円の計上及び配当金の支払いによる減少1,200千円により、利益剰余金が62,187千円増加したことによります。この結果、当事業年度末の自己資本比率は54.4%（前事業年度末比2.0ポイント減少）となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ52,749千円減少し、128,936千円となりました。当事業年度に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した資金は25,867千円（前期は99,454千円の獲得）となりました。これは主に税引前当期純利益76,311千円、減価償却費14,925千円の計上、及び仕入債務の増加134,299千円があった一方で、売上債権の増加175,648千円、棚卸資産の増加23,786千円及び法人税等の支払額52,543千円があったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は23,701千円（前期は31,387千円の支出）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出18,039千円、有形固定資産の取得による支出11,749千円があった一方で、投資有価証券の売却による収入4,000千円があったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は3,180千円（前期は69,729千円の支出）となりました。これは主にリース債務の支払による支出1,980千円、配当金の支払による支出1,200千円などによるものであります。

（4）今後の見通し

今後の歯科医療業界は、「治療中心」から「予防・維持管理中心」への構造転換が一層進み、訪問診療や地域包括ケアへの対応、さらにはデジタル技術を活用した診療の高度化が不可欠となるなど、大きな変革期を迎えております。また、口腔と全身の健康の関連性に対する社会的関心の高まりを背景に、歯科医療の役割はこれまで以上に重要性を増していくものと認識しております。

一方で、歯科医院数の減少や地域偏在、人材確保の困難さ、診療コストの上昇など、業界を取り巻く課題は複雑化しており、従来型の商流・サービスだけでは顧客の期待に応えることが難しい状況となっております。このような環境認識のもと、当社は「Dental Solution」を中核に据え、顧客の経営課題に踏み込む提案型ビジネスへの進化を加速してまいります。コンタクトセンターを起点とした顧客接点の再構築により対応スピードと品質を向上させるとともに、DXの推進による業務効率化とデータ活用を進め、営業・物流・サポートが一体となった価値提供体制を確立してまいります。さらに、開業支援・承継支援、セミナー・情報発信機能の強化を通じて、顧客のライフサイクル全体に伴走するビジネスモデルへの転換を図ってまいります。これらの取り組みにより、収益構造の転換と中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

次期の業績予想につきましては、売上高4,798百万円（前期比0.7%増）、営業利益33百万円（同42.6%減）、経常利益52百万円（同31.6%減）、当期純利益34百万円（同45.5%減）を見込んでおります。

（注）業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性の確保を重視し、会計基準につきまして、当面は日本基準に基づき財務諸表を作成する方針です。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月20日)	当事業年度 (2026年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	381,780	329,075
売掛金	487,394	663,043
商品	155,228	179,026
貯蔵品	1,010	999
前払費用	8,220	4,991
未収還付法人税等	—	2,735
その他	38,280	36,139
貸倒引当金	△561	△132
流動資産合計	1,071,353	1,215,878
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	49,735	58,508
車両運搬具(純額)	4,709	2,363
工具器具及び備品(純額)	4,596	2,112
土地	64,177	64,177
リース資産(純額)	4,050	2,250
有形固定資産合計	127,268	129,412
無形固定資産		
ソフトウェア	200	73,178
ソフトウェア仮勘定	60,258	—
無形固定資産合計	60,458	73,178
投資その他の資産		
投資有価証券	6,133	2,133
出資金	10	10
保証金	27,380	25,344
保険積立金	40,473	40,473
長期前払費用	507	256
繰延税金資産	13,172	23,265
その他	3,055	3,045
投資その他の資産合計	90,733	94,529
固定資産合計	278,461	297,120
資産合計	1,349,814	1,512,999

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年3月20日)	当事業年度 (2026年3月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	411,738	546,038
リース債務	1,980	1,980
未払金	50,067	42,688
未払費用	12,616	7,062
未払法人税等	27,333	542
未払消費税等	12,722	10,783
前受金	2,354	11,318
賞与引当金	19,003	18,386
その他	9,184	4,825
流動負債合計	547,000	643,626
固定負債		
リース債務	2,475	495
退職給付引当金	38,699	45,050
固定負債合計	41,174	45,545
負債合計	588,175	689,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,000	24,000
利益剰余金		
利益準備金	8,000	8,000
その他利益剰余金		
別途積立金	199,000	199,000
繰越利益剰余金	530,639	592,827
利益剰余金合計	737,639	799,827
株主資本合計	761,639	823,827
純資産合計	761,639	823,827
負債純資産合計	1,349,814	1,512,999

（2）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 (自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)	当事業年度 (自 2025年3月21日 至 2026年3月20日)
売上高	4,548,927	4,763,002
売上原価		
商品期首棚卸高	146,570	155,228
当期商品仕入高	3,826,492	4,054,257
合計	3,973,062	4,209,485
商品期末棚卸高	155,228	179,026
売上原価合計	3,817,833	4,030,459
売上総利益	731,093	732,542
販売費及び一般管理費	679,742	674,613
営業利益	51,350	57,928
営業外収益		
受取利息	131	1,082
受取配当金	363	273
受取手数料	11,744	16,059
その他	1,953	889
営業外収益合計	14,192	18,303
営業外費用		
社債利息	144	—
その他	—	4
営業外費用合計	144	4
経常利益	65,398	76,227
特別利益		
固定資産売却益	892	84
保険解約返戻金	63,434	—
特別利益合計	64,327	84
特別損失		
和解金	5,000	—
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	5,000	0
税引前当期純利益	124,725	76,311
法人税、住民税及び事業税	46,310	23,017
法人税等調整額	△2,133	△10,092
法人税等合計	44,177	12,924
当期純利益	80,548	63,387

（3）株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2024年3月21日 至 2025年3月20日）

（単位：千円）

	株主資本						純資産合計
	資本金	利益剰余金				株主資本 合計	
		利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
			別途 積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	24,000	8,000	199,000	452,491	659,491	683,491	683,491
当期変動額							
剰余金の配当				△2,400	△2,400	△2,400	△2,400
当期純利益				80,548	80,548	80,548	80,548
当期変動額合計	—	—	—	78,148	78,148	78,148	78,148
当期末残高	24,000	8,000	199,000	530,639	737,639	761,639	761,639

当事業年度（自 2025年3月21日 至 2026年3月20日）

（単位：千円）

	株主資本						純資産合計
	資本金	利益剰余金				株主資本 合計	
		利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
			別途 積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	24,000	8,000	199,000	530,639	737,639	761,639	761,639
当期変動額							
剰余金の配当				△1,200	△1,200	△1,200	△1,200
当期純利益				63,387	63,387	63,387	63,387
当期変動額合計	—	—	—	62,187	62,187	62,187	62,187
当期末残高	24,000	8,000	199,000	592,827	799,827	823,827	823,827

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)	当事業年度 (自 2025年3月21日 至 2026年3月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	124,725	76,311
減価償却費	10,354	14,925
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	△429
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△369	△616
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,224	6,350
受取利息及び受取配当金	△494	△1,355
支払利息及び社債利息	144	—
和解金	5,000	—
固定資産売却損益 (△は益)	△892	△84
保険解約返戻金	△63,434	—
売上債権の増減額 (△は増加)	102,909	△175,648
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,806	△23,786
前払費用の増減額 (△は増加)	3,743	3,228
仕入債務の増減額 (△は減少)	△94,530	134,299
未払金の増減額 (△は減少)	11,215	△7,378
前受金の増減額 (△は減少)	△4,244	8,964
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,472	△1,939
その他	△3,687	△7,520
小計	88,379	25,320
利息及び配当金の受取額	494	1,355
利息の支払額	△219	—
法人税等の支払額	△47,634	△52,543
和解金の支払額	△5,000	—
保険解約返戻金の受取額	63,434	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	99,454	△25,867
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,158	△11,749
有形固定資産の売却による収入	892	84
無形固定資産の取得による支出	△23,006	△18,039
投資有価証券の売却による収入	1,000	4,000
保証金の回収による収入	1,000	2,038
保険の積立による支出	△5,059	—
その他	△56	△36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,387	△23,701

	前事業年度 (自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)	当事業年度 (自 2025年3月21日 至 2026年3月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△5,000	—
リース債務の返済による支出	△2,329	△1,980
社債の償還による支出	△60,000	—
配当金の支払額	△2,400	△1,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69,729	△3,180
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,662	△52,749
現金及び現金同等物の期首残高	183,348	181,686
現金及び現金同等物の期末残高	181,686	128,936

（5）財務諸表に関する注記

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（持分法損益等）

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社は、歯科器械・歯科材料等の卸売販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

	前事業年度 (自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)	当事業年度 (自 2025年3月21日 至 2026年3月20日)
1株当たり純資産額	158円67銭	171円63銭
1株当たり当期純利益	16円78銭	13円21銭

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)	当事業年度 (自 2025年3月21日 至 2026年3月20日)
当期純利益(千円)	80,548	63,387
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	80,548	63,387
普通株式の期中平均株式数(株)	4,800,000	4,800,000

（重要な後発事象）

該当事項はありません。